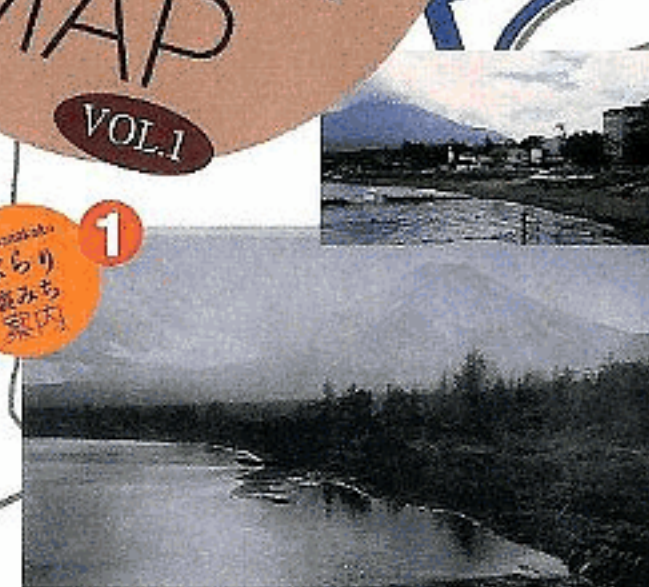


やまなかみんなでやさしいまちづくり 出かけませんか。ぶらり裏みち散策。

Yamanakako ぶらり 裏みち散策 MAP VOL.1

山中湖の夕照



桂川の流水が川から照和1年に岡田純陽が撮影した写真「山中湖の夕照」は、橋も無く澄る川底を削りながら流れてくる川面と、湖畔まで迫る雑木林のむこうに富士山が望め、この時の流れを感じさせます。水は急野・富士吉田・相模湖を経て相模川に注ぎます。またこの地域の小字名の「梁尻」の「梁」も、川の割に木枝を打ち並べ、堰を作って漁業をしていた歴史から来ている様です。

金刀比羅宮 周辺の景観



ホテルマウント富士の登り口に建立されている金刀比羅宮は、遠威の金刀比羅宮より分霊を、湖の水に安全と漁漁を祈願しています。急な階段を登ると小さな祠が鎮座し木々の間から湖畔と山中集落富士の裾野がのぞめ富士山に一番近い湖が実感できます。

梁尻通り 周辺の景観

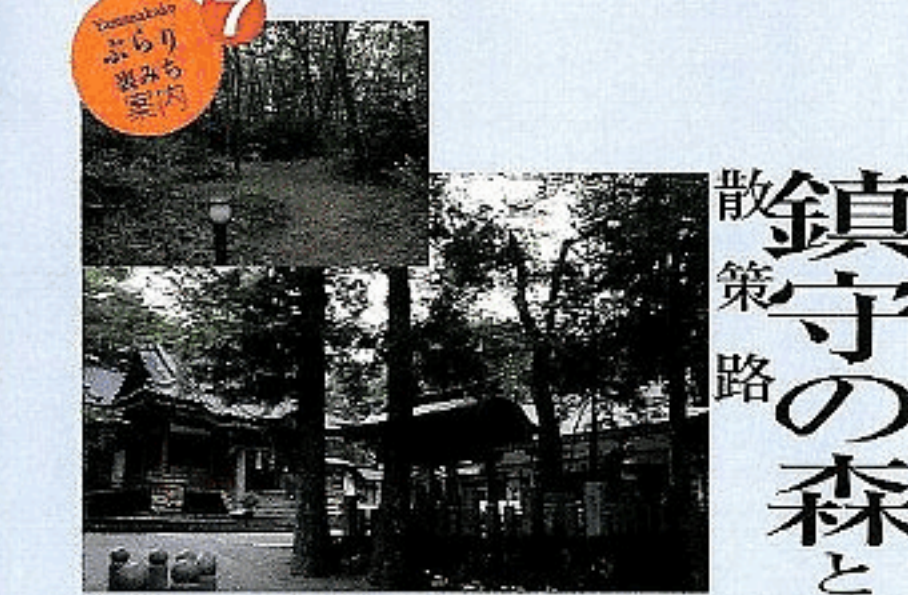


「梁尻通り」は長池方面から吉田・忍野に抜ける昔から利用されてきた古道で昭和5年の地図にも湖畔の川口を迂回した道が描かれていました。幅3m程度の道沿いにはアザミや樺の木、巨木も残り、朽ちた幹にはキツツキの巣穴が多く見られます。



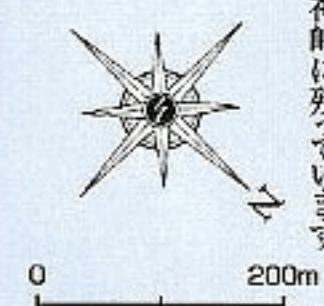
日鎌倉往還と 林の中の小道

浅間神社の境内の参道下から旧道にぬける林の中の踏み固められた小道は、日鎌倉往還です。近くには富士山景勝地として国から指定を受けた記念碑が建っており、建物や樹木が少なかつた昔は富士と裾野の眺望が良かった事でしょう。



鎮守の森と 散策路

山中諏訪神社と商工会 保育園にかこまれた鎮守の森に散策路が整備されています。アジサイや、もみじの植えられた多彩な植生を持つ森は神社参拝者や周辺を訪れる観光客、地域の子供達の遊び場、憩いの空間となっています。



桂川沿い サイクリング道 花の都公園へ

サイクリング道から桂川が大きくクラクする沖新畑に向かう川辺に立つて、西側から川面を渡り、木々の下で水遊びをした子供時代が思い出されます。

桂川川口から梁尻通りを「花の都公園」に向う桂川沿いを歩く。紅富士の湯から組合「いこいの森散歩道」、山中浅間神社・諏訪神社の鎮守の森を散策し湖畔まで。

約6km

(1時間~2時間のトレイルで約350キロカロリーを消費します。)



花の都公園のダイヤモンド富士と紅葉



いこいの森

紅富士の湯に接する入会組合敷地内には、整備された自然観察遊歩道「いこいの森」があります。アジサイやもみじ、さまざまな木々があります。

6 Yamanakako ぶらり 裏みち 案内

4 Yamanakako ぶらり 裏みち 案内

5 Yamanakako ぶらり 裏みち 案内

1 Yamanakako ぶらり 裏みち 案内

2 Yamanakako ぶらり 裏みち 案内

3 Yamanakako ぶらり 裏みち 案内